

ステークホルダー・コミュニケーション

トモニホールディングスグループでは、お客さま、株主の皆さま、地域社会等のあらゆるステークホルダーの皆さまから信頼され、安心しておつきあいいただける地域金融グループを目指して、積極的なコミュニケーションと適切な情報開示を行い、社会全体の持続的な発展に向けて貢献していきます。

お客さま満足度向上への取組み

■ お客さま本位の業務運営

当社グループは、グループ経営理念に基づき、お客さまの資産形成及び資産運用のお役に立つため、投資信託や保険商品等の金融商品の販売業務において、お客さま本位の取組みを実践していくため、グループ共通の基本方針として「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を策定し、グループ会社の取組みをお客さまにご理解いただけるよう、お客さま本位の業務運営の取組状況を定期的に公表しています。

【お客さま向けセミナーの開催】

当社グループの銀行子会社においては、資産運用や相続・贈与等をテーマとしたお客さま向けセミナーを開催し、お客さまの金融知識や経験・資産の状況に応じた適正な情報提供に努めています。

● お客さま向けセミナーの開催状況 (令和4年度・銀行子会社合算)

開催回数	5回
参加人数	154人



【お客さまの資産形成目的等に応じたアフターフォローの実施】

当社グループの銀行子会社においては、以下の基準に基づき、継続的なお客さまのニーズの把握と情報の提供等を目的にアフターフォローを行っています。

アフターフォローの種類・実施基準
◇日常業務におけるアフターフォロー 日常業務を通じて情報提供等を行います。
◇定期的なアフターフォロー 一定の年齢以上等、一定の基準に該当するお客さまに対してフォローを行います。
◇臨時のアフターフォロー 相場急変時等、投資信託を保有するお客さまに対して、市場動向等の必要な情報提供等を行います。

● 定期的なアフターフォロー実施状況 (令和4年度・銀行子会社合算)

対象顧客	17,061先
実施顧客	17,061先
実施率	100%

当社グループは、お客さまへの金融商品の提案等において、お客さまの金融知識や経験・資産の状況等に応じた適正な情報提供と商品説明に努めています。

【プロフェッショナル人材の育成】

当社グループの銀行子会社においては、お客さまへの最良の金融サービスの提供を目指し、プロフェッショナル人材の育成を図るとともに、お客さま本位の業務運営の実践に向けた態勢整備に努めています。

● 行員向け研修の開催状況 (令和4年度・銀行子会社合算)

開催回数	106回
参加人数	5,252人



【環境整備等】

当社グループの銀行子会社においては、平成28年からインターネット投信を導入し、お客さまの利便性の向上に努めるとともに、インターネットでの投信購入に係る販売手数料は、一律20%引きの対応をしています。また、お客さまのご負担を軽減するため、営業店の窓口等でもタブレット端末を活用し、より分かりやすくご案内・説明できるようになっており、お申込みからご契約まで印鑑レス・ペーパーレスで完結できる態勢を整備しています。

● 投信販売件数・インターネット投信利用率 (令和4年度・銀行子会社合算)

全投資信託販売件数	13,374件
うちインターネット販売件数	8,809件
インターネット投信利用率	65%

● ペーパーレス受付率 (令和5年3月受付・銀行子会社合算)

	受付率
投資信託	76%
生命保険	95%

【満足度に関するアンケート】

当社グループの銀行子会社においては、預り資産（投資信託・生命保険）を購入いただいたお客さまに対して、「満足度に関するアンケート」を実施しており、お客さまからの評価・ご意見を業務運営に反映させ、更なるサービスの向上に努めています。

● 満足度に関するお客さまアンケート結果（令和4年度・銀行子会社合算）

質問内容	「満足」「やや満足」の割合
お客さまのニーズやライフプランに合った商品をご提案できていましたか。	93%
商品の特性・リスク・手数料等について分かりやすく説明できていましたか。	94%
商品説明以外にお客さまに参考となる適正な情報をお伝えできていましたか。	91%

地域貢献活動への取組み（徳島大正銀行）

■ 地域活性化イベント「“上勝でととのう”in 月ヶ谷温泉 月の宿」

令和5年2月、近畿大学との包括連携協定に基づき、当行若手職員と同大学経営学部商学科の学生が、地域活性化を目的として企画したテントサウナを中心としたイベントを開催しました。近大マグロの解体ショーや上勝マルシェなど多彩なイベントにより、地元の魅力を発信しました。

また、SDGsセミナー「バイオコクス」を有効活用した新しいまちづくり（講師：近畿大学バイオコクス研究所博士（工学） 富田義弘氏）を主催し、持続可能な社会の実現に向け、環境・社会的課題の解決に積極的に取り組んでいます。



バイオコクス使用のテントサウナ



テントサウナ



近大マグロ解体ショー



SDGsセミナー

■ 大阪市「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン等出展事業」へ寄付 ～関西で100年（旧大正銀行創業100周年）を記念～

地域貢献活動の一環として、大阪市に30百万円を寄付し、令和4年10月に大阪市長より感謝状をいただきました。2025年に控える日本国際博覧会大阪パビリオン等出展事業へ活用されます。



大阪市長より感謝状

■ 社会福祉法人徳島県社会福祉協議会へ生活物品を贈呈

徳島県社会福祉協議会では、徳島県内の市町村福祉協議会等とともに、様々な事情で生活にお困りの方々を支援する取組みを行っています。当行もこの趣旨に賛同して、生活物品の提供を広く役職員に働きかけ、集まった食料品や衛生用品、衣類、マスク等の生活物品（段ボール30箱分）を、令和4年11月に徳島県社会福祉協議会へ贈呈しました。



贈呈式



集まった生活物品

■ 環境保全への取組み（ボランティア）

● 高丸山千年の森づくり

徳島県の豊かな森林を未来に引き継ぐための活動に、平成22年以降正会員となり活動しています。令和4年11月には、徳島県勝浦郡上勝町高丸山「千年の森（遊学の森）」で、森づくり事業に参加し、下草刈りを行いました。



高丸山千年の森づくり



アドプト奉仕活動

● アドプト奉仕活動

多くの役職員とその家族が、地域の皆さまとともに、積極的にアドプト清掃奉仕活動に参加しています。

■ 地域社会との共生への取組み

● 公益財団法人とくぎん生涯学習振興財団「講演会」

当財団は、地域住民の皆さまの生涯学習に関する事業の支援を行うという目的のもと、これまでに累計で403団体に対し、67,111千円の助成金を交付しています。また、毎年各界の著名人による講演会を開催しており、令和5年2月には、タレントで気象予報士の石原良純氏が「空を見よう」と題して講演を行いました。



石原良純氏による講演

地域貢献活動への取組み（香川銀行）

■ 「かがわアライアンス」による地域活性化

香川銀行と高松信用金庫の「香川県の地域活性化に関する業務連携協定（かがわアライアンス）」は、発足2周年を迎えました。発足以来、「ATM相互無料化」や「協調融資」を行い、協調融資については、M&A関連資金、福祉施設の開業資金への融資等の取組事例が増加しました。

また、「共同販売会の開催」、「かがわアライアンス地域情報ホームページの開設」、「SDGsリレーマラソンの開催」等、香川県を元気にする取組みを多数実施しました。



共同販売会（取引先の売上支援）



ホームページ開設式



SDGsリレーマラソン



リレーマラソンの参加料を寄付

■ 女子ハンドボールチーム「香川銀行GiraSol（シラソル）」

～香川銀行創立80周年を契機に、国内最高峰の日本リーグに参戦～

創部30年の歴史をもつ「香川銀行GiraSol」は、国内最高峰の日本リーグでプレーしています。地域の優秀な人材に地元で活躍する場を提供するとともに、「香川県からオリンピック選手を」を合言葉に、地域に元気をお届けします。



香川銀行GiraSol

■ 「公益財団法人香川銀行青少年育成支援財団」による活動

当財団は、国際交流、教育、スポーツ、音楽など青少年への様々な支援を通じて、地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援し、地域社会の発展に貢献することを事業目的としています。

ハンドボールの普及啓発を図るため、体験教室やボールの寄贈等を行っています。「香川オーリーブ少年少女合唱団」では、幼稚園児から高校生の子どもたちが活躍しています。



ハンドボール教室

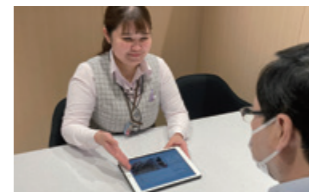


香川オーリーブ少年少女合唱団

■ 環境保全への取組み（脱炭素社会の実現）

● ペーパーレス化の推進

香川銀行のデジタル戦略に基づき、タブレット端末を全店に配布しています。これにより、タブレット端末上で金融商品販売に係る手続き等が可能となりました。



タブレットによる手続き

● 環境配慮型店舗の導入

環境負荷軽減の取組みとして、消費電力抑制につながる空調や、古紙や現場廃材を再利用した「リサイクル内装ボード」の採用及び照明のLED化等を進めています。

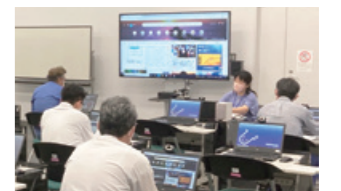


窓口カウンターのリサイクル内装ボード

■ 地域の課題解決への貢献

● 「KNBC（香川ニュービジネスクラブ）」による活動

地域の課題解決に貢献するため、DX、インボイス制度等に関するセミナーを開催しました。令和5年2月に開催した講演会では、女優で戸板女子短期大学客員教授の菊池桃子氏が「キャリア形成からみたSDGsへの課題」と題して講演を行いました。



地域の人々に研修機会を提供

ステークホルダー・コミュニケーション

株主の皆さまとのコミュニケーション

■ 株主の皆さまとの建設的な対話の促進

当社は、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、株主・投資家の皆さまとの建設的な対話の促進に努めています。

● IRカレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	・決算発表 ・機関投資家向けIR		・統合報告書発行 ・ディスクロージャー誌発行 ・アニュアルレポート発行				・中間決算発表 ・四半期報告書		・中間ディスクロージャー誌発行		
		・定時株主総会 ・有価証券報告書 ・ミニディスクロージャー誌発行		・第1四半期決算発表 ・四半期報告書			・中間期ミニディスクロージャー誌発行		・第3四半期決算発表 ・四半期報告書		

■ 株主総会

当社は、株主総会が株主の皆さまとの建設的な対話の場であることを認識し、その活性化に努めるとともに、株主の皆さまが円滑に議決権を行使できるよう環境整備に努めています。

また、新型コロナウイルス感染症について、感染症法上の位置付けが5類となったこと等を踏まえ、香川県高松市において開催した第13期定時株主総会終了後に、徳島市及び大阪市において事業報告会・懇親会を開催し、株主の皆さまとの対話の機会の拡充を行いました。

● 株主総会の活性化及び議決権行使の円滑化に向けての取組状況

株主総会招集通知の早期発送	第13期定時株主総会招集ご通知(アクセス通知)は、法定期日前の令和5年6月6日に発送しました。
集中日を回避した株主総会設定	第13期定時株主総会については、集中日を回避して令和5年6月27日に開催しました。
電磁的方法による議決権の行使	郵送による議決権行使のほか、インターネット等による議決権行使を可能としています。
議決権電子行使プラットフォームへの参加その他機関投資家の議決権行使環境向上に向けた取組み	(株)ICJが運営する議決権電子行使プラットフォームへ参加しています。
招集通知(要約)の英文での提供	第13期定時株主総会招集ご通知(要約)の英語版は、令和5年6月5日に当社ホームページ等に掲載しました。
その他	株主総会開催時に、報告事項及び決議事項について、ビジュアル化対応を行い、株主により平易にわかりやすい説明を行いました。 また、株主総会の開催状況について、当社ホームページにその様子等を掲載しています。



■ 機関投資家・アナリスト向けIR

当社は、令和5年5月に設立以来初めて、機関投資家・アナリストの方々を対象とした説明会を開催し、社長兼CEOによる令和5年3月期決算及び第5次経営計画に関する説明を実施しました。開催に当たりましては、会場へのご出席のほかWebでの動画配信も同時に行いました。なお、説明会資料及び説明会の様子については、当社ホームページに掲載しています。

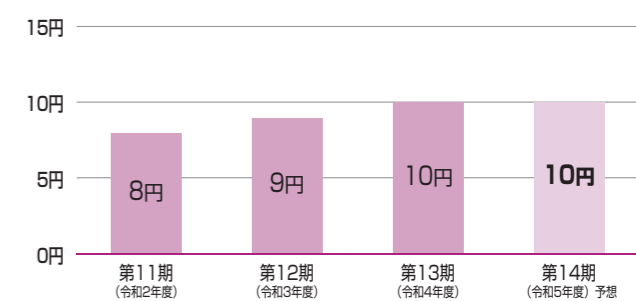


■ 株主還元状況

当社は、企業価値の継続的向上を図るとともに、株主の皆さまに対する利益還元を経営上の重要課題の一つと位置づけた上で、経営体質の一層の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としています。

上記の方針の下、第13期(令和4年度)の1株当たり配当金(年額)は、前期(令和3年度)と比べて1円増配し、10円としました。

● 1株当たり年間配当金の推移



■ 情報開示の充実

当社は、当社グループの財政状態・経営成績等の財務情報や、経営戦略・経営課題、リスクやガバナンスに係る情報等の非財務情報について、会社法、銀行法及び金融商品取引法をはじめとする法令に基づく開示を適時・適切に行うとともに、法令に基づく開示以外の情報提供の充実に積極的・主体的に取り組んでいます。



統合報告書



ディスクロージャー誌



ミニディスクロージャー誌



ホームページ トップページ
<https://www.tomony-hd.co.jp/>

人財活躍推進への取組み

社員一人ひとりにとっての働きやすい、働きがいのある職場づくり

当社グループは、第5次経営計画における基本戦略の一つとして「人財戦略」を掲げ、働きやすい、働きがいのある職場環境の整備、実践的かつ効果的な学びの場の提供による人財の育成、多様な人財の活躍推進への取組みに努めています。

働きやすい環境の整備

●「プラチナくるみんプラス」の認定取得（徳島大正銀行）

徳島大正銀行は、次世代育成支援対策推進法に基づき、不妊治療と仕事を両立しやすい職場環境整備に取り組む企業として、令和4年11月に厚生労働大臣より「プラチナくるみんプラス」の認定を受けました。不妊治療等と仕事の両立に向け、保存休暇制度の拡充など働きやすい環境の整備を進めており、職員の様々なニーズを把握し、両立支援に向けて取り組んでいます。



●人事制度の改定（香川銀行）

香川銀行は、令和5年4月1日付で、10年ぶりに人事制度を改定しました。業務の効率化と行員のマルチスキル化を進めるとともに、転居を伴う異動がない「エリア総合職」の新設や、「リモートワークの環境整備」等を行うことにより、誰もが働きやすい環境を整備しています。

【人事制度改定の概要】

目指す姿	多様な人財が働きがいを感じ、最大限の力が発揮できる人事制度の構築		
主な改定内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 役割と貢献度を重視した人事制度を構築 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 評価制度の全面改定 ■ キャリア形成支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な働き方への環境整備 ■ 福利厚生の充実

●副業制度の導入（徳島大正銀行・香川銀行）

徳島大正銀行及び香川銀行は、職員が保有する能力や特技を地域住民等へ提供することで地域経済の活性化に貢献するとともに、スキルや経験を得ることで本業での付加価値向上につなげることを目的として、副業制度を導入しています。

【実施事例】 ・セミナー講師 ・観光客向け阿波踊りの実演
・Webデザイン制作 ・テニスコーチ 等



副業「特技を活かした観光客向け阿波踊りの実演」

●「トモニスマイル保育園」の設置（香川銀行）

香川銀行は、子どもを育てながら安心して働くことができる環境整備及び女性のキャリア形成支援の一つとして、「トモニスマイル保育園」を設置しています。地域の待機児童解消に少しでもお役に立てるよう、定員の一部を「地域枠」として開放しています。



人財育成への取組み

当社グループは、社員一人ひとりの成長を組織の成長につなげるため、実践的かつ効果的な場を提供することにより人財の育成に積極的に取り組んでいます。

銀行子会社においては、より高い職務・資格にチャレンジするステップアップ研修や各職務を遂行するために必要な知識や技能を吸収する職務遂行研修など、階層別・職務別に集合研修を開催しています。また、実務現場におけるOJT（職場内教育）を通じて、個々の能力に応じた指導・教育を実施しています。さらに、通信教育の受講や、外部検定試験の合格、公的資格の取得を積極的にサポートすることで、社員一人ひとりの成長につなげています。



若手行員が互いに教え合う「KAGAWA郷中塾」

女性活躍推進への取組み

当社グループの銀行子会社においては、女性が管理職として活躍できる雇用環境の整備のため、女性管理職の育成を目的として研修の実施等に取り組むとともに、職場生活と家庭生活との両立のため、男性の育児休業の取得促進に取り組んでいます。

●「えるぼし」の認定取得（徳島大正銀行・香川銀行）

徳島大正銀行及び香川銀行は、女性の職場生活における活躍の推進に関する法律（以下「女性活躍推進法」という。）に基づき、「えるぼし」の認定を取得しています。「えるぼし」の認定は、女性活躍推進法に基づき一般事業主行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍推進に関する取組みの実施状況が優良等の一定の要件を満たした場合に、厚生労働大臣が認定するものです。今後も女性が働きやすく、活躍できる職場環境づくりに積極的に取り組んでいきます。



●管理職に占める女性の割合

	令和5年3月末(実績)			令和8年3月末(目標)
	徳島大正銀行	香川銀行	銀行子会社合算	銀行子会社合算
管理職に占める女性の割合	16.4%	11.9%	14.4%	20%以上

(注) 管理職とは、支店長代理職以上のことをいいます。

●男性の育児休業取得率

	令和5年3月期(実績)			令和8年3月期(目標)
	徳島大正銀行	香川銀行	銀行子会社合算	銀行子会社合算
男性の育児休業取得率	93.5%	95.2%	94.2%	100%

(注) 香川銀行は、育児目的休暇の取得も含んでいます。